

(様式第1号)

第 号
年 月 日

河川管理者 様
(県管理河川の場合は「河川企画課長」)

静岡県〇〇農林事務所長
(又は、静岡県経済産業部
森林・林業局森林保全課長)

林地開発行為の許可申請における下流河川の調査について(通知)

下記の林地開発行為について、事業者から、林地開発許可申請の事前相談があり、内容を確認したところ、〇級河川〇〇水系〇〇川の調査が必要と認められることから、当該河川について、静岡県林地開発許可審査基準及び留意事項(以下、審査基準)に基づく調査の実施を指導しました。

今後、事業者から貴職に対し、審査基準に規定する事項に係る調査の実施についての相談、及び当該調査に必要な資料の提供依頼があるものと思われますので、御対応をお願いします。

記

- 1 申請者の住所氏名
- 2 開発行為に係る森林の所在場所
- 3 開発行為の目的
- 4 添付資料

注)

- ・変更許可申請にあっては、「許可」を「変更許可」に読み替えるものとする。
- ・事業者の相談資料の抜粋等、事業概要(事業予定地と放流先河川の位置、事業予定規模、変更にあっては変更概要 等)が分かる資料を添付する。
- ・必要に応じ「林地開発許可申請に伴う河川管理者の同意取得に係る運用」を添付する。

(様式第2-1号)

第 号
年 月 日

河川管理者 様
(県管理河川の場合は「河川企画課長」)

静岡県〇〇農林事務所長
(又は、静岡県経済産業部
森林・林業局森林保全課長)

林地開発行為の許可申請における河川管理者の助言について(依頼)

年 月 日付け 第 号により通知した下記1の林地開発行為について、静岡県林地開発許可審査基準及び留意事項(以下、審査基準)に基づき河川管理者に対し助言を求めめる事項(下記2)に係る事前相談があり、資料を確認したところ、審査基準に基づく検討が実施されたものと認められることから、〇級河川〇〇水系〇〇川の管理者である貴職の助言を求めます。

今後、申請者から貴職に対し助言依頼がありましたら、内容の確認をお願いするとともに、調査が必要な地点について申請者及び当職あて通知願います。

記

1 林地開発行為の概要

(1)申請者の住所氏名

(2)開発行為に係る森林の所在場所

(3)開発行為の目的

2 助言を求めめる事項

審査基準別記2の1(1)に規定する、「ピーク流量の増加率が1%未満の範囲であっても、当該管理者が安全に流下させることができないと判断する地点」

3 送付資料

- ・事前相談資料の写し(抜粋)
- ・通知様式(様式第3号)

注)

- ・変更許可申請にあつては、「許可」を「変更許可」に読み替えるものとする。
- ・事前相談資料の写しは、申請者から提出された資料のうち、検討結果（調査範囲）がわかる資料を添付すること。
- ・調査が完了している等により様式第1号による案件概要の情報提供を実施しない場合は、事業概要（変更にあつては変更概要）が分かる資料を添付すること。

(様式第 2 - 2 号)

年 月 日

河川管理者 様
(県管理河川の場合は「河川企画課長」)

申請者

林地開発行為の許可申請における河川管理者の助言について(依頼)

林地開発許可申請を予定している下記の開発行為について、「開発行為をする森林の下流において、開発中及び開発後の 30 年確率で想定される降雨強度における無調整のピーク流量が開発前のピーク流量に対して 1%以上増加する範囲(調査範囲)」の設定を行いました。

そこで、静岡県林地開発許可審査基準及び留意事項に基づき、調査範囲以外において調査が必要と認められる地点の助言をお願いします。

記

- 1 開発行為に係る森林の所在場所
- 2 開発行為の目的
- 3 送付資料
 - ・「調査範囲」設定に係る資料

注)

- ・変更許可申請にあっては、「許可」を「変更許可」に読み替えるものとする。
- ・「調査範囲」の設定に係る資料は、事前に林地開発許可の審査機関の確認を受けること。

(様式第3号)

第 号
年 月 日

静岡県〇〇農林事務所長 様
(又は、静岡県経済産業部
森林・林業局森林保全課長 様)

申請者 様

河川管理者
(県管理河川の場合、「河川企画課長」)

林地開発行為の許可申請における河川管理者の助言について(回答)

〇年〇月〇日付け(第 号)で依頼のあったことについて、下記により回答します。

記

1 調査が必要と認める地点(審査基準別記2 1(1))

	依 頼	助 言
A	審査基準別記2 1(1)において設定した「開発中及び開発後の30年確率で想定される降雨強度における無調整のピーク流量が開発前のピーク流量に対して1%以上増加する範囲」の範囲外でピーク流量を安全に流下させることができないと判断する地点	●●川 ・●km～●kmの区間 ・●地点

2 送付図面

平面図 ●枚
縦断図 ●枚
横断図 ●枚

3 その他

注)

- ・変更許可申請にあつては、「許可」を「変更許可」に読み替えるものとする。
- ・50年確率で想定される降雨強度における開発中及び開発後のピーク流量を洪水調整池下流の許容放流量まで調整する必要があると認められる場合は、50年確率降雨強度を用いる旨を、その他に記載する。(審査基準第2章第3の2 ほか)

(様式第4号)

第 号
年 月 日

河川管理者 様
(県管理河川の場合は「河川企画課長」)

静岡県〇〇農林事務所長
(又は、静岡県経済産業部
森林・林業局森林保全課長)

林地開発行為の許可申請における河川管理者の同意について(通知)

年 月 日付け 第 号により通知した下記1の林地開発行為について、静岡県林地開発許可審査基準及び留意事項(以下、審査基準)に基づき河川管理者に対し同意を求める事項(下記2)に係る事前相談があり、資料を確認したところ、審査基準に基づく検討が実施されたものと認められることから、〇級河川〇〇水系〇〇川の管理者である貴職の確認を受けるよう指導したので、お知らせします。

今後、申請者から貴職に対し、審査基準に規定する事項に係る確認・同意の要請がありましたら、内容の確認をお願いするとともに、その結果について、別添様式により当職あて通知願います。

記

1 林地開発行為の概要

- (1) 申請者の住所氏名
- (2) 開発行為に係る森林の所在場所
- (3) 開発行為の目的

2 確認・同意を求める事項

(1) 狭窄地点の選定

審査基準別記2の1(1)に定める、調査範囲のうち、30年確率で想定される降雨強度における開発中及び開発後のピーク流量を流下させることができない地点及び河川管理者等から助言を受けた地点

(2) ネックポイントの選定

審査基準別記2の2に定める、狭窄地点のうち、開発行為による影響を最も強く受ける地点

3 送付資料

- ・事前相談資料の写し（抜粋）
- ・チェックリスト(様式第4-2号)
- ・通知様式（様式第6-2号）

注)

- ・変更許可申請にあっては、「許可」を「変更許可」に読み替えるものとする。
- ・河川等の管理者との調整により、50年確率の降雨強度を用いる場合は、「30年確率」を「50年確率」に読み替えるものとする。
- ・事前相談資料の写しは、申請者から提出された資料のうち、狭窄地点とネックポイントの選定結果がわかる資料を添付すること。（例：計算結果一覧と流域図）
- ・変更許可申請にあって、調査範囲の変更がない等により様式第1号から3号の手続を省略している場合は、事業概要（変更概要）が分かる資料を添付すること。

(様式第4-2号) 林地開発行為に伴う河川等への影響に係るチェックリスト(林地開発許可審査機関用)

	項目	細部項目	チェック
A	狭窄地点の調査範囲の設定 §別記2 1(1)	1. 狭窄地点の調査範囲(※)は適切か。 ※開発行為を行う下流のうち 30 年確率で想定される降雨強度におけるピーク流量の増加が 1 %以上の範囲 (調査範囲) ※調査範囲外で調査が必要な地点は河川管理者の助言を受ける	適 <input type="checkbox"/> 不適 <input type="checkbox"/>
B	狭窄地点の選定 §別記2 1(1) §別記2 1(1)ウ	1. 調査範囲のうち、適切な箇所で調査が行われているか。また、河川管理者から助言を受けた調査が必要な地点で調査が行われているか。 ア) 調査箇所の選定理由 (考え方) は合理的か イ) 調査箇所に漏れはないか	適 <input type="checkbox"/> 不適 <input type="checkbox"/>
		2. 調査は、必要な項目について実施されているか。(根拠資料が添付されているか。) ア) 流下断面積 イ) 粗度係数(河床、護岸の構造) ウ) 河床勾配	適 <input type="checkbox"/> 不適 <input type="checkbox"/>
		3. 調査箇所のうち「ピーク流量を流下することのできない地点」(狭窄地点) が適切に選定されているか。 ア) 流下能力の算定(マニング式) ・調査結果に基づく算定 ・河川改修計画の反映 イ) 洪水流量の算定(ラショナル式) ・集水区域(面積、流出係数)の設定 ・洪水到達時間の設定	適 <input type="checkbox"/> 不適 <input type="checkbox"/> 該当地点なし <input type="checkbox"/> (調整池の設置不要)
C	ネックポイントの選定 §別記2 2	1. 狭窄地点のうち、「開発行為の影響を最も強く受ける地点」(ネックポイント) が適切に選定されているか。(Bで「該当地点なし」の場合検討不要) 【選定地点】 ○○側 <input type="checkbox"/> 測点 ○○	適 <input type="checkbox"/> 不適 <input type="checkbox"/> 該当地点なし <input type="checkbox"/>
		2. ネックポイントの選定にあたっては、以下の諸元が適切に算出されているか。(Bで「該当地点なし」の場合検討不要) 【選定地点】 ○○川 <input type="checkbox"/> 測点 ○○ 【選定地点の流下能力】 ○ m^3/s 【流下能力に対応する降雨強度】 ○○ mm/hr 【選定地点における開発地からの許容放流量】 ○ m^3/s	適 <input type="checkbox"/> 不適 <input type="checkbox"/> 該当地点なし <input type="checkbox"/>

(様式第5号)

年 月 日

河川管理者 様

(県管理河川の場合は「河川企画課長」)

申請者

林地開発行為の許可申請における河川管理者の同意について(依頼)

林地開発許可申請を予定している下記1の開発行為に係り、静岡県林地開発許可審査基準及び留意事項に基づき、下記2の事項について確認を依頼します。

記

1 開発行為の概要

(1) 森林の所在場所

(2) 開発行為の目的

2 確認・同意を求める事項

(1) 狭窄地点の選定

- ・ 調査範囲のうち、30年確率で想定される降雨強度における開発中及び開発後のピーク流量を流下させることができない地点
- ・ 河川管理者等から助言を受けた地点

(2) ネックポイントの選定

- ・ 狭窄地点のうち、「当該開発行為による影響を最も強く受ける地点」

3 送付資料

- ・ 狭窄地点及びネックポイントの選定に係る資料

注)

- ・ 変更許可申請にあつては、「許可」を「変更許可」に読み替えるものとする。
- ・ 河川等の管理者との調整により、50年確率の降雨強度を用いる場合は、「30年確率」を「50年確率」に読み替えるものとする。
- ・ 狭窄地点及びネックポイントの選定に係る資料は、事前に林地開発許可の審査機関の確認を受けること。
- ・ 変更許可申請にあつて、調査範囲の変更がない等により運用のA(調査範囲)の手続

を省略している場合は、事業概要（変更概要）及び調査範囲の検討結果が分かる資料を添付すること。

(様式第 6-1 号)

第 号
年 月 日

申請者 様

河川管理者
(県管理河川の場合、「河川企画課長」)

林地開発行為の許可申請における河川管理者の同意について(通知)

○年○月○日付けにより依頼のあったことについて、下記により回答します。

記

1 同意を求める事項に対する確認結果(審査基準別記 2 1(1)、2)

	確認内容	確認結果
B	・調査範囲のうち、「30年確率で想定される降雨強度における開発中及び開発後のピーク流量を流下させることができない地点」 ・河川管理者等が助言した地点	同意・不同意
C	Bの地点のうち、「当該開発行為による影響を最も強く受ける地点」	同意・不同意

(不同意の理由)

--

2 その他

注)

- ・変更許可申請にあっては、「許可」を「変更許可」に読み替えるものとする。
- ・河川等の管理者との調整により、50年確率の降雨強度を用いる場合は、「30年確率」を「50年確率」に読み替えるものとする。
- ・申請者が河川改修を前提に河川の流下能力を算出している場合にあっては、必要に応じ、留意事項として「2 その他」に「開発行為着手前に、河川改修に係る河川法等の手續及び改修工事を実施すること」を記載する。

(様式第 6-2 号)

第 号
年 月 日

静岡県〇〇農林事務所長 様
(又は、静岡県経済産業部
森林・林業局森林保全課長 様)

河川管理者
(県管理河川の場合、「河川企画課長」)

林地開発行為の許可申請における河川管理者の同意について(通知)

〇年〇月〇日付け〇〇第〇号による通知について、●●●から、静岡県林地開発許可審査基準及び留意事項に基づく確認依頼があり、別添により回答したので通知します。

注)

- ・変更許可申請にあっては、「許可」を「変更許可」に読み替えるものとする。
- ・申請者への通知(様式第 6-1 号)の写しを添付する。
- ・申請者が河川改修を前提に河川の流下能力を算出している場合にあっては、必要に応じ、「開発行為着手前に、河川改修に係る河川法等の手續及び改修工事を実施するよう、申請者へ指導願う」旨を記載する。

(様式第7号)

第 号
年 月 日

河川管理者 様
(県管理河川の場合は「河川企画課長」)

静岡県〇〇農林事務所長
(又は、静岡県経済産業部
森林・林業局森林保全課長)

林地開発行為の許可申請における河川管理者の同意について(通知)

〇年〇月〇日付け〇〇第〇号により「開発行為による影響を最も強く受ける地点」等の同意を得た下記1の開発行為について、〇年〇月〇日付けで林地開発許可申請があり、審査の結果、排水施設及び洪水調整池等の設置について、静岡県林地開発許可審査基準及び留意事項(以下、審査基準)に適合しているものと認められます。

そこで、申請者に対し、審査基準第2章第2の7(2)エに基づく河川管理者の同意を得るよう指導しました。

今後、申請者から貴職に対し確認・同意の要請がありましたら、内容の確認をお願いするとともに、その結果について、別添様式により当職あて通知願います。

記

1 開発行為の概要

- (1)申請者の住所氏名
- (2)開発行為に係る森林の所在場所

2 確認・同意を求める事項

開発行為区域からの〇級河川〇〇水系〇〇川への放流に係る排水計画(放流地点、放流量)

3 送付資料

- ・申請図書(写)(抜粋)
- ・チェックリスト(様式第7-2号)

注)

- ・変更許可申請にあっては、「許可」を「変更許可」に読み替えるものとする。

- 申請図書(写)は、排水計画の概要が分かる資料を添付する。(例：排水計算書、排水計画図)
- 変更許可申請にあつて、運用 A から C の手続を実施していない場合は、事業概要（変更概要）が分かる資料を添付すること。

(様式第7-2号) 林地開発行為に伴う河川等への影響に係るチェックリスト(詳細設計編)

審査基準	項目	細部項目	チェック
【B】 §別記2 1(1) §別記2 1(1)ウ	狭窄地点の調査範囲及び調査地点の選定	狭窄地点について、河川管理者等の同意を得ているか。	適 <input type="checkbox"/> 不適 <input type="checkbox"/> 該当地点なし <input type="checkbox"/>
【C】 §別記2 2	狭窄地点の選定	狭窄地点のうち、「当該開発行為による影響を最も強く受ける地点」(ネックポイント)について、河川管理者等の同意を得ているか。 地点名称：○○川 測点 地点データ：流下能力 m^3/s 降雨強度換算 mm/hr	適 <input type="checkbox"/> 不適 <input type="checkbox"/> 該当地点なし <input type="checkbox"/>
§別記2 1(3) §第2章第3の6	洪水調整池の要否		要 <input type="checkbox"/> 不要 <input type="checkbox"/> (河川改修による <input type="checkbox"/>)
§別記2 3 (運用) 開発行為の手引き (R5) (参8-66)	洪水調整池からの許容放流量及び許容放流量に対応する降雨強度	開発地からの許容放流量①は、【C】で決定した地点＝ネックポイントの流下能力に基づき算定されているか。 (開発地からの許容量放流量①) $\text{○○m}^3/\text{s}$ (降雨強度換算 $\text{○○mm}/\text{hr}$)	適 <input type="checkbox"/> 不適 <input type="checkbox"/> ※数値が異なる場合は、その理由を記載
		調整池からの許容放流量③は適切に設定されているか。(〈運用〉開発地からの直接放流量②が控除されているか。) (開発地からの直接放流量②) $\text{○○m}^3/\text{s}$ (調整池からの許容放流量③(①-②)) $\text{○○m}^3/\text{s}$ (降雨強度換算 $\text{○○mm}/\text{hr}$)	適 <input type="checkbox"/> 不適 <input type="checkbox"/>
§第2書第3の8 §別記2 4 (運用) 開発行為の手引き (R5) (参8-66)	洪水調整池の必要容量	洪水調整池の必要容量算定に用いる洪水流量の設定は適切か。【○年確率降雨強度】 降雨量変化倍率が採用されている場合、降雨量変化倍率を用いて算出されているか。 【降雨量変化倍率○○】	適 <input type="checkbox"/> 不適 <input type="checkbox"/>
		洪水調整池の必要容量算定式【開発区域面積 50ha以下＝簡便(静岡)式(2ha以上 $\alpha=2$ 、2ha未満 $\alpha=1$)、簡便式等、50ha超＝ハイドログラフ】は適切か。	適 <input type="checkbox"/> 不適 <input type="checkbox"/>
		〈運用〉やむを得ず流域変更を行う場合は、流域変更分は全量貯留することとなっているか。(流域面積が増加する場合の放流量は、変更前の流域で算	適 <input type="checkbox"/> 不適 <input type="checkbox"/>

		出した放流量を超えないこと。)	
		計画容量は必要容量以上となっているか。 計画容量 m^3 > 必要容量 m^3	適 <input type="checkbox"/> 不適 <input type="checkbox"/>
§別記2 5(3)イ (運用) 開発行為の手引き (R5) (参8-72)	洪水調整池の設計放流量	オリフィス径及び設計放流量は適切か。 許容放流量対応オリフィス径：○mm×○mm 設計オリフィス径：○mm×○mm 設計オリフィス径から逆算した設計放流量 ○○ m^3/s (降雨強度換算○○mm/hr)	適 <input type="checkbox"/> 不適 <input type="checkbox"/>
§別記2 4(3)	放流量の確保	調整池からの放流量は、24時間程度で調整池が空になる放流量が確保されているか。	適 <input type="checkbox"/> 不適 <input type="checkbox"/>
—	洪水調整池の必要容量(再検証)	設計放流量に基づき必要容量が再計算されており、再計算された必要容量以上の計画容量が確保されているか。 計画容量 m^3 > 必要容量(再計算) m^3	適 <input type="checkbox"/> 不適 <input type="checkbox"/>
§別記2 5(1)、(2)	洪水調整池堤体の構造	洪水調整池の構造は適切か。	適 <input type="checkbox"/> 不適 <input type="checkbox"/>
§別記2 5(3)オ	放流管の流下能力	放流管は十分な流下能力を有しているか。 必要流量 ○○ m^3/s 設計流量 ○○ m^3/s ※申請書において用いている流量【設計流量 OR 洪水流量(余水吐からの放流)】で確認する。	適 <input type="checkbox"/> 不適 <input type="checkbox"/>
§別記2 5(4)	余水吐の流下能力	余水吐は十分な流下能力を有しているか。 必要流量 ○○ m^3/s 設計流量 ○○ m^3/s	適 <input type="checkbox"/> 不適 <input type="checkbox"/>
§第2章第2の7	排水施設の河川接続部の位置及び構造	洪水調整池の放流管及びその他排水施設について、河川等への接続位置及び接続部の構造は適切か。 (参考：審査基準) ・放流によって地盤が洗堀されるおそれがある場合には、水叩きの設置その他の措置を適切に講ぜられていること。 ・排水施設は、排水量が少なく土砂の流出又は崩壊を発生させるおそれがない場合を除き、排水を河川等まで導くように計画されていること。この場合、当該河川等又は他の排水施設等の管理者の同意を得ていること。	適 <input type="checkbox"/> 不適 <input type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/>
		直接(一次)放流先の河川等の管理者の同意の可否(一次放流先(接続先)) 接続先河川等名称：○○川(○○農業用水路) 管理者：静岡県○○土木事務所(○○市○○課)	要 <input type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>

(様式第8号)

年 月 日

河川管理者 様
(県管理河川の場合は「河川企画課長」)

申請者

林地開発行為の許可申請における河川管理者の同意について(依頼)

林地開発許可申請を予定している下記1の開発行為に係り、静岡県林地開発許可審査基準及び留意事項に基づき、下記2の事項について確認を依頼します。

記

1 開発行為の概要

(1) 森林の所在場所

(2) 開発行為の目的

2 確認・同意を求める事項

・開発行為区域からの〇級河川〇〇水系〇〇川への放流に係る排水計画(放流地点、放流量)

3 送付資料

・開発行為区域からの〇級河川〇〇水系〇〇川への放流に係る資料

注)

- ・変更許可申請にあっては、「許可」を「変更許可」に読み替えるものとする。
- ・資料は、事前に林地開発許可の審査機関の確認を受けること。
- ・変更許可申請にあって、運用AからCの手続を省略している場合は、事業概要(変更概要)及び狭窄地点・ネックポイントの検討結果が分かる資料を添付すること。

(様式第9-1号)

第 号
年 月 日

申請者 様

河川管理者
(県管理河川の場合、「河川企画課長」)

林地開発行為の許可申請における河川管理者の同意について(通知)

〇年〇月〇日付けにより依頼のあったことについて、下記により回答します。

記

貴社の林地開発行為において設置する排水施設について、〇級河川〇〇水系〇〇川に放流する計画のうち、放流地点、放流量については同意します。

なお、当該排水計画は、【〇〇であり〇〇のおそれがあることから】、河川の管理に著しい影響が懸念されます。このため、下流河川である〇級河川〇〇水系〇〇川の管理者の確認を受けることを助言します。

また、排水施設を〇級河川〇〇水系〇〇川河川区域内に設置するにあたっては、別途、河川法第24条及び第26条第1項の規定に基づく許可が必要となります。

この通知は河川法に基づく許可について内諾するものではありません。

注)

- ・変更許可申請にあっては、「許可」を「変更許可」に読み替えるものとする。
- ・なお書きについては、第一次放流先の河川等の管理者が、排水計画が河川等の管理に著しい影響を及ぼすと判断する場合に記載する。(審査基準第2章第2の7(2)エ)

(様式第9-2号)

第 号
年 月 日

静岡県〇〇農林事務所長
(又は、静岡県経済産業部
森林・林業局森林保全課長 様)

河川管理者
(県管理河川の場合、「河川企画課長」)

林地開発行為の許可申請における河川管理者の同意について(通知)

〇年〇月〇日付け〇〇第〇号による通知について、事業者から、静岡県林地開発許可審査基準及び留意事項第2章第7(2)エに基づく確認依頼があり、別添のとおり回答したので通知します。

注)

- ・変更許可申請にあっては、「許可」を「変更許可」に読み替えるものとする。
- ・申請者への通知(様式第9-1号)の写しを添付する。